

RI2820地区

水海道ロータリークラブ



四つのテスト

言行はこれに照らしてから

1. 真実か どうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情深めるか
4. みんなのためになるか どうか

2013-2014年度 RI会長
ロン D. バートン

次回例会予定 4月23日 外部卓話
4月30日 観劇会振替

VOL. 51 No. 33(通算No. 2395)

2014年4月16日(水) 例会プログラム

点 鐘
ロータリーソング
ビジター紹介
出席報告
S A A 報告
諸 報 告
幹 事 報 告
会 長 挨 拶
外 部 卓 話



写真提供: 会報委員会

2013-2014年度 会長 熊谷 昇 幹事 染谷 秀雄

創立 1963年9月25日

《例会場・例会日》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 2790
常陽銀行水海道支店内 3F

毎週 水曜日 12:30~13:30 ☎0297-22-1251

《事務所》

〒303-0023 茨城県常総市水海道宝町 3386
釜久ビル 3F

TEL0297-30-0875 Fax0297-30-0876

E-mail mitsu-rc@lapis.plala.or.jp

URL <http://www.mitsukaido-rc.jp/>



4月は雑誌月間です

例会報告 VOL. 51 No. 32 (No. 2394) 4月2日(水)晴れ(司会 鈴木勝久委員長)

本例会での主な事項

◎会長挨拶

◎地区研修・協議会報告

誕生祝

《ご夫人》 秋田会員 染谷(正)会員 熊谷会員 石井会員 青木(英)会員

幹事報告 染谷秀雄幹事

週報受理クラブ なし

例会変更通知 なし

会長挨拶 熊谷 昇会長



ご挨拶申し上げます。

少し前に新しい年を迎えたと思っておりましたが、早いのもう4月になってしまいました。例年4月初めの週は新年度や新学期の時期で、学校や官庁・会社などで入学式や入社式などが行われ、何かとあわただしい季節ですが、今年は消費増税も手伝い皆さんの職場でもご家庭でも何かとせわしい思いをされたのではないのでしょうか？庶民としては、景気の先行きを心配しております。

さて、さくらの開花もこのところの暖かさで満開になりお花見の季節となりました。

今週いっぱいのみどころといえるでしょうか？

さて松尾芭蕉の句に「さまざまの思い出す桜かな」このような句があります。この句は、元禄元年(1688)芭蕉が、奥の細道の旅に出る一年前、故郷の伊賀の国に帰省した時に詠んだ句だそうで、時に芭蕉45歳でした。実に平凡な句ということで話題になるそうですが、この句の意味を解釈すると長くなってしまいますので、興味のある方はお調べいただくのがよろしいかと思えます。

ちなみに芭蕉は元武士(さむらい)でございまして、脱藩して俳人になったということでございます。桜の季節に若かりし頃の思い出を重ねた読んだ句といわれています。

自分の胸に手を当ててみると、よい句が生まれてきそうです。

さて、今日は先日、日立市で開催されたクラブ協議会の報告をしていただきます。先週もお話いたしました、武藤・山野井年度が始まりつつあります。2014-15年度のさまざまな取り組みに向け力を合わせ、準備を進めていきたいと思っております。

又、今週末には、会長・幹事会そして地区大会が予定されております。今年も当クラブはロータリー財団表彰を受けるようでございます。会員の皆様日頃のご協力に感謝いたします。

4月 雑誌月間(Magazine Month)

RIの公式機関誌『ザ・ロータリアン』および世界31の地域雑誌の購読と、活用促進に役立つプログラムを実施する月間です。ロータリーの雑誌(『ロータリーの友』など)に対する会員の認識を深め、それによってロータリーの情報の普及を図ることが目的です。

クラブはこの月間中に雑誌に関するプログラムを実施しなければなりません。チェスリー・ペリー国際ロータリー初代事務総長によって創刊された、『ザ・ナショナル・ロータリアン』(1912年に『ザ・ロータリアン』に改称)が発刊された1911年1月25日を記念して、当初1月25日を含む1週間を雑誌週間としていました。

『2007年手続要覧』の「ロータリークラブ定款」の「第14条 ロータリーの雑誌」では、各会員は、会員身分を保持する限りRIの機関雑誌、またはRI理事会から本クラブに対して承認ならびに指定されている地域的なロータリー雑誌(日本では『ロータリーの友』)を購読しなければならない、と定めています。

4月は雑誌月間です

地区研修・協議会報告

武藤康之会長エレクト



午前中は全体会議、午後より分科会となりました。分科会では分区毎に分かれ増強と退会防止についての話でした。その中で、他クラブより水海道ロータリークラブの会員数について質問を受けました。

どうして今の状態になったのか諸先輩より聞いておこうと思います。

海老原良夫次年度会員組織委員長



午前 10 時開会、長谷川國雄ガバナーの『本日研修の目的は藤居彰一ガバナーエレクトのお人柄や地区運営の方針を理解することである。』との挨拶で始まり、次いで登壇された藤居ガバナーエレクトより次期RI会長の 7 項目の運営目標が発表され、そのひとつである財団について、ロータリー財団コーディネーター補佐北村仁パストガバナーが約 30 分の講話をされた。

昼食をはさんで午後 1 時から 3 時まで分科会が開催され、クラブ奉仕委員会においては、会員増強、広報・雑誌、HP運営、ロータリーの友について、各委員長よりそれぞれ詳細な説明がなされた。分科会終了後、再び本会議場に戻り、閉会行事が行われたが、なかでも地区幹事の挨拶には、特別の感慨をもって聞き入った。

28 年ぶりに彼のスピーチを聞いた。1986 年、彼は青年会議所茨城ブロック協議会の会長であった。爾来幾星霜、この日、客席から遠目に臨むステージ演壇上の彼の姿見は、髪は、さておき、声は往時のままであった。あれからおよそ四半世紀、彼の人生航路も様々な軌跡を描いたことであろう。が、ともかく。今度は、「ロータリー地区幹事という立場の彼」との 28 年ぶりの再会となった。藤居彰一ガバナー、鈴木一良地区幹事年度の航海の無事を念じ、多士済済 68 名の乗組員を擁する日立丸なればこそ、それもまた、容易いことであろう。この日の地区協議会の、その運営ぶりに、日立クラブの実力の程を垣間見た。

山野井周一次年度幹事



幹事の役割と責務について勉強してきました。

ウェブの活用をするように。

水海道の公式訪問は12月3日で、3週間前には現況報告書をガバナー事務所、ガバナー補佐に届くようにすること。

会員増強の話がありました。

大塚令昌次年度会員増強委員長



先日の地区研修協議会には、田上会員組織委員長が欠席となりましたので私大塚が出席してまいりました。会員組織委員会には 会員増強・広報・職業分類・会員選考・ロータリー情報と 5委員会それぞれの担当役員の報告がありましたが、藤居ガバナーエレクトも 本年度同様会員増強をめざしておりますので、各委員の皆様のお話にも話の隅々に会員増強と広報に関しての言葉が出ておりましたので、次年度私は会員増強委員長となりますので武藤会長エレクト並びに白井・隅屋先輩委員と増強に努力してまいりたいと思います。

4月は雑誌月間です

松村仁寿次年度職業奉仕委員長



ロータリーの第2奉仕部門。ロータリアンが、その職業上のあらゆる関係において、すべての人々に対して、すなわちロータリアンでない人達も含めて奉仕の理想を分かち与える責務のことをいいます。事業および専門職の道徳的水準を高めること。あらゆる有用な業務は尊重されるべきであるという認識を深めること。その業務を品位あらしめること。

染谷正昭次年度社会奉仕委員長



地区補助金を活用してほしい。
700万の予算があるので、全クラブで使って欲しい。

北村英明次年度国際奉仕委員長



手続要覧のP67をご一読してみてください。国際奉仕についての記述があります。3350地区のタイ、3810地区のフィリピンに、マングローブの植樹や歯科衛生をしています。
WCSではこの指とまれ事業。
水海道クラブでは、ツウンバ事業が主になると思います。

染谷正美次年度青少年奉仕委員長



地区研修・協議会の青少年奉仕委員会に出席しました。担当カウンセラーである清水 清パストガバナーから青少年奉仕活動の変遷について説明がありました。その中1913年12月にアメリカ・ニューヨーク州シラキユースロータリークラブが障害を持つ少女の窮地を知りこれを支援するために同クラブ内に障害児委員会を設置したのがその始まりであり、少女の障害回復のための手術とリハビリの費用を賛同する仲間達から当時の寄付金として2,728ドルを集めプロジェクトを立ち上げています。この活動が起点となり、全米に青少年奉仕活動のための運動がロータリークラブ内に広がりました。また、青少年に関連するニーズ調査を行い、貧しい家庭の青少年支援のために食料品、衣類、玩具、書籍など障害児たちに提供するなど活動範囲が広がりました。その後、1920年にアトランタ大会では青少年活動を含めるための細則改定を決議、1924年1月に、国際ロータリーは、世界中のロータリークラブに青少年活動委員会の設置を義務付けることになりましたと言われました。
清水 清カウンセラーの後、インターアクト、ローターアクト、ライラ、青少年交換プログラムの活動報告がありました。ライラについては、次年度35回大会10月に「筑波ふれあいの里」で行なう予定です、よろしくお願いたします。

4月は雑誌月間です

島田 勝次年度ロータリー財団委員長



3月23日(日)日立シビックセンターに於いて2014～2015年度地区研修・協議会が開催され出席いたしました。報告するに当たり、北村コーディネーターの総評で長時間の勉強の成果をしっかりと報告するよう言われましたので、準備をしていましたが、先日、担当委員会より一人3分との連絡がありました。よって、午前中の北村PGロータリー財団コーディネーターのロータリー財団について、そして午後1時からの財団の分科会についてのみ報告致します。

先ず、ロータリー財団については、総論、歴史、使命、2年目を迎える未来の夢計画、ポリオについての話がありました。歴史については1917年アーチCクランプRI会長が世界で良いことをするために基金設置を提案し、この基金が1928年にロータリー財団と名付けられ現在になったとの事です。そして、午後1時より分科会に移動し、第9グループのロータリー財団委員会に出席いたしました。開会后、山崎総括委員長の挨拶があり、15年度から始まった未来の夢計画も2年目を迎えます、是非全クラブで地区補助金を申請して下さいとの話がありました。

(1) 補助金と奨学会について 百目鬼補助金委員長

未来の夢計画で補助金制度の改定

1. 地区補助金 2. グローバル補助金 3. パッケージグラントの3つになる

(2) 地区補助金について 横山地区補助金委員会チーフ

地区補助金の申請に関する書類の記入について資料を元に説明。

(3) グローバル補助金について 山崎総括委員長

ロータリー財団が誕生してから100年目を迎え、ロータリー財団の夢への幕開けとの話があり、その中で新しいプログラムとして、GSEに変わりVTT(職業研修チーム)が新設された。

続いて、グローバル補助金としロータリーの6つの分野に該当し、持続かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際的活動を支援するものであるとの説明。

(4) 資金管理(MOU)について 佐谷資金管理委員長

(5) 資金推進について 植竹資金推進委員長

2014～2015年度の2820地区寄付目標額

年次寄付 130ドル ポリオ 20ドル 会員一人 150ドル

(6) ポールハリス・ソサエティについて(PHS) 日向野コーディネーター

この制度は新たにできた制度であり、毎年1,000米ドルを寄付しPHSの会員になる。目的はより良い地域社会づくりを応援する事。なお、当地区のPHSは25名

(7) ポリオ・プラスについて 野内ポリオ・プラス委員長

1985年ポリオ撲滅をめざす事を目的に出来、今年も一人20ドルの寄付を

そして、質疑応答があり、結城RCより補助金の申請にあたり今年と同様の内容でよいかとの質問(答)継続する事はダメであるが、対象者が違えば良いのでは、今年も承認していきたい。

最後に北村コーディネーター補佐より総評があり、その中で是非ロータリーカードを申請して使用して下さいとの話がありました。

種類は個人・ゴールド・法人

因みに、ロータリーカードとはロータリークレジットカードプログラムで買物をすれば利用金額に応じて0.3%が財団に自動的に寄付されるプログラムであり、利用者本人に、負担は一切ないとの事です。

以上で報告を終わります。

4月は雑誌月間です

米山記念奨学会 青木正弘委員長



- ① 2820地区 2013~2015年度米山記念奨学生
応募者数 82名 (中国44名 韓国10名 他13ヶ国で26名)
- ② 国別奨学生 26名 (中国8名 韓国4名 ベトナム4名
他7ヶ国で10名) 男性9名 女性17名
- ③ 世話クラブは米山への寄付額の多いところを優先するが寄付額の少ないクラブでも世話クラブとなりたいところへはサブ世話クラブとして斡旋仲介をする。
- ④ 海外在住の希望者にはインターネットを利用した海外応募の方法を取り入れた。今年はベトナム1名、インドネシア2名、ネパール1名、パキスタン1名、モロッコ1名の応募。
- ⑤ 指定校 筑波大学 茨城大学 流通経済大学 東京芸大
応募者 36名 34名 8名 4名
次年度は指定校を増やす。

出席報告 高須 薫副委員長

会員総数	出席者数	欠席者数	賜 暇	メーク	出席率
55名	46名	9名	0名	9名	100.00%

ニコニコボックス 倉持功典委員長

入金計 ¥48,000 累計 ¥1,642,000

誕生祝御礼《ご夫人》秋田・染谷(正)・熊谷・石井・青木(英) 各会員
桜も満開です。4月5・6の地区大会よろしくお願ひします。 熊谷会員
地区大会よろしくお願ひします。 染谷(秀)会員
その他 山野井・松坂・大塚 各会員
過ぎたことを煩うよりも 新しい気持ちでいきたくてゆきたい 青木(正)会員
長男夫婦と孫が帰ってきました。 青木(清)会員
地区研修・協議会、参加の皆様お疲れ様でした。勉強になりました。 北村(英)会員
桜が満開です。この心で人と接し、ふれていきたい・・・と思う今日この頃です。 石井会員
良い季節になりました。 古矢会員
やっと暖かくなり桜の花も満開。気持ちも少し明るくなった気がします。 高須会員
例会欠席しました。 長塚・石塚(利) 各会員
先週欠席しました。 島田会員

会報委員会 五木田利明委員長 青木清人副委員長

4月は雑誌月間です

地区大会写真集

平成26年4月5日・6日 於:茨城県民文化センター



4月は雑誌月間です



会員の皆様、お疲れ様でした。



写真提供: 青木正弘会員